

平成 10 年度試験研究成果

区分	指導	題名	水田難防除雑草「クサネム」の発生状況		
〔要約〕水田難防除雑草「クサネム」の発生を花泉町等で確認したが、転作田内からの発生拡大により、周辺の水田内での発生が認められたので、その状況を取りまとめた。					
キーワード	難防除雑草	クサネム	発生状況	農産部水田作研究室	

1. 背景とねらい

クサネムは畦畔から水田内に侵入し、種子の混入により玄米の品質低下を招いたり、収穫時の作業の妨げになったりしており、南東北の他県では問題雑草の一つとされている。

本県でも、昨年度花泉町から採取した雑草種子をクサネムの種子と同定したことから、本年、花泉町を中心にクサネムの発生状況を調査した。

2. 技術の内容

(1) 雑草名：クサネム（マメ科） *A. eschynomene indica* L.

(2) 発生生態：

主に畦畔、休耕田、湿地などに生息するが、しばしば水田内にも発生する。

管理不十分な休耕田などにしばしば群生するが、水管理が粗放になったりあるいは漏水が大きいなどにより水持ちが悪く、土壌表面が露出しやすい水田では、発生が多くなる。

硬実性による休眠性を持つため、発生が不均一になり、耕土層での寿命も長い。

また、種子は湛水条件よりも湿潤条件が適しているため、浅水管理や中干し等により水稻の生育中期以降にも発生する。

種子の形態は茶褐色で長さ 3.5 mm、幅 2.5 mm ほどで米選機でも除去できないため、しばしば収穫時に玄米に混入して品質低下の原因となる（写真 3）。

(3) 発生確認市町村：花泉町、北上市、江刺市

(4) 発生の状況

転作田（牧草地）及び水田で発生を確認した。（表 1～表 4）

発生が確認された転作田（牧草地）は、放任状態で管理されており、圃場によって発生程度に差がみられた。（表 1）

発生が確認された水田は、クサネムの発生が認められた転作牧草地に近接しており、ノビエやアメリカセンダングサ等他の水田雑草も繁茂していた。（表 3）

3. 指導上の留意事項

(1) 調査は花泉町を重点に実施したものである。関係機関の聞き取り等から、花泉町に隣接する市町村でも発生している可能性が高い。

(2) 転作田の発生から周辺水田へ拡大することが多いので、転作田周辺の畦畔で発生が確認された場合は、水田畦畔除草剤の施用やクサネム株の抜き取りを行い、発生拡大しないように留意する。

(3) 本種に対する具体的な防除法は検討していないが、秋田県、福島県では、MCPB（マメット SM、クミリード SM 等）や MCPA エチル（グラスジン M、粒状水中 MCP 等）を有効成分として含む除草剤の効果が高いことから、初期剤または一発剤とこれらの除草剤との除草体系を示している。

4. 技術の適応地帯

県下全域

5. 当該事項に係る試験研究課題

〔水田利用 2〕 - 2 - (2) 水田雑草の発生分布及び生態調査

6. 参考文献・資料

(1) 「雑草管理ハンドブック」 朝倉書店

(2) 「原色・雑草の防除（改訂版）」 著者 筒井喜代治、草薙得一、中山兼徳（社）家の光協会

(3) 秋田県 農作物病虫害・雑草防除基準 平成 10 年度版

(4) 福島県 平成 10 年度 農作物病虫害防除基準

7. 試験成績の概要



写真1 転作田内で発生したクサネム



写真2 クサネム豆果



写真3 クサネム種子

表1 クサネムの発生事例（H10、花泉町永井）

発生場所	面積	発生量及び発生場所	備考（その他発生雑草等）
転作田	7 a	微(1本/m ² 以下) 一部	ホトトギス、スズメ、セリ
転作田	9 a	多(30本/m ² 以下) 全面	
転作田	14 a	少(1本/m ²) 畦畔際	
転作田	13	甚(50本/m ² 以下) 全面	
転作田	11 a	中(10本/m ²) 畦畔際多	
転作田	10 a	少(1本/m ²) 畦畔多	アメリカセンダングサ、タマガヤツリ
転作田	7 a	中(10本/m ²) 全面	

注．転作田はいずれも放任牧草、畦畔脇の農道にも発生が見られた。

表2 クサネムの発生事例（H10、花泉町永井）

発生場所	面積	発生量及び発生場所	備考（その他発生雑草等）
転作田	2 a	少(1本/m ²) 畦畔際一部	近接水田には発生無し

表3 クサネムの発生事例（H10、花泉町永井）

発生場所	面積	発生量及び発生場所	備考（その他発生雑草等）
転作田		少(1本/m ² 以上) 一部	} 近接している
水田		少(1本/m ² 以上)	
転作田	2 a	微(0.2本/m ² 以上)	上2圃場から数百mの圃場

表4 クサネムの発生事例（H10、北上市相去）

発生場所	面積	発生量及び発生場所	備考（その他発生雑草等）
水田		- 全面	前年は、周辺畦畔にも発生

注．現地農家からの聞き取り：初期一発除草剤を施用しているが、漏水が多い圃場で、ノビエ等多発している。